

成蹊大学文学部現代社会学科
2016年度前期「コミュニティ演習」
成果報告会

2016年7月15日（金）
成蹊大学 8 号館303教室

本日の報告内容

- (1) コミュニティ演習とは
- (2) 授業テーマ「街の記憶を記録へ」について
- (3) どのようにして写真の撮影時期と場所を特定していったか？
- (4) 「石川コレクション」を通して見る吉祥寺駅周辺再開発の歴史
- (5) 写真のアーカイブ化作業を通じて見えてきたことと、私たちの
提案
- (6) 写真を分析することで伝わってきた石川さんの思い
- (7) 質疑応答
- (8) 授業の成果と課題

コミュニティ演習とは

- 成蹊大学の位置する武蔵野市や近隣自治体に関わる研究テーマを設定し、インタビューや質問紙調査などの手法を用いながら研究を進め、その成果や提言を地域に向け発信していく文学部現代社会学科の授業。
- 武蔵野市と成蹊大学が結んでいる包括連携協定の下に実施
- 今回の授業テーマは「街についての記憶を記録へ」

授業テーマ「街についての記憶を記録へ」について

- 出発点＝「吉祥寺今昔写真館委員会」との出会い
- 「吉祥寺今昔写真館委員会」
2009年に設立。吉祥寺周辺を撮影した写真の収集やデジタル化、写真展の開催などの活動を展開。
- 収集した写真の中には撮影時期や場所が特定されていないものもある。



授業テーマ「街についての記憶を記録へ」について

- 問題意識

1枚の写真は、撮影者が、ある特定の時点にある特定の場所から、特定のフレームによって現実を切り取った記録として存在している。

しかしながら、そのままでは写真は撮影者の「個人的な記録」に留まり、他の写真や他の人たちの記憶と結びつくことができない。撮影された時期と場所が特定され、同じ場所で撮影された他の時期の写真や、同じ時期に撮影された他の場所の写真との関係が明瞭になることではじめて、1枚の写真は「社会的な記録」となり、その写真が撮影された時代や社会の姿を知るための縁（よすが）となる。

授業テーマ「街についての記憶を記録へ」について

- 今回私たちがおこなった作業
 - （１）写真の撮影場所や時期をつきとめ、「個人的記録」を「社会的な記録」へと編み直す作業。（＝アーカイブ化）
 - （２）昔の吉祥寺を知る方々に写真から思い起こされるかつての街の様子について語り合ってもらい、その内容を記録する作業。（＝写真をきっかけとするコミュニケーションの創出と、記憶の記録化）

授業テーマ「街についての記憶を記録へ」について

- 今回アーカイブ化作業をおこなった写真群

⇒ アマチュア写真家、故石川正一さんが残した2冊のアルバムに収められていた、吉祥寺駅周辺の写真＝「石川コレクション」



石川 正一さん

大正6年生まれ 81歳 武蔵野市吉祥寺東町在住
元岩崎通信機

- 昭和18年頃から写真を撮りはじめる
- 終戦後、電話機製造の岩崎通信機に入社
- 定年後も写真を撮り続け、昨年1月に初の個展を開

変貌する武蔵野の街を撮って40年、80歳で初の個展を開く

どのようにして写真の撮影時期と場所を特定していったか？

3つの重要な手掛かり

- (1) 写真に写り込んでいる情報
- (2) 昔の地図や土地の買収記録などの歴史資料
- (3) 昔の街の様子を知っている人たちへの聞き取り調査

<事例 1>

写真に写り込んでいる情報だけから撮影時期と場所がほぼ特定できたケース

写真から読み取れる情報



信号に記されている
交差点名
＝「八幡神社前」

映画のポスター

信号に記されている交差点名→場所の特定



(出典：「武蔵野市商工住宅名鑑 1964年」住宅協会)

石川さんが撮った写真



同じ場所の現在の写真

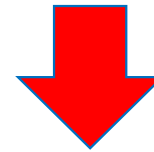


「上映中」と書かれた掲示板に貼られた映画のポスター
→時期の特定



『絶唱』 = 1975（昭和50）年12月20日公開
『妻と女の間』 = 1976年1月17日公開

さらに、『妻と女の間』のポスターの下には、
「17日→10日」という文字が読み取れる。



1976年1月17日～2月10日の間に撮影された
写真であると推定される。

「油断禁物」の例：一見先ほどの写真と同じように見えるが、
拡大してみると、「上映中」の映画が『妻と女の間』ではなく『裸足のブルージーン』

→公開日は『絶唱』と同じ1975年12月20日なので、こちらの写真の方が若干早く撮影されたと推定される。



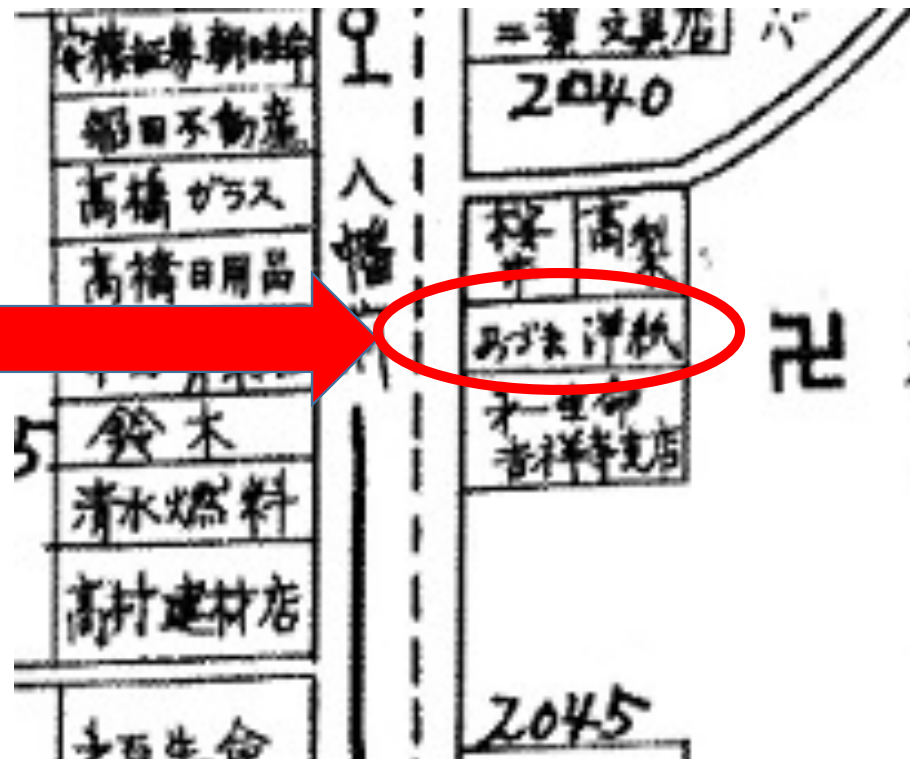
＜事例 2＞

写真に写り込んでいる情報と、昔の地図や歴史資料とを照らし合わせることで撮影時期と場所が特定できたケース

写真だけでは、「仕立専門 AZUMA」という情報しか得られない



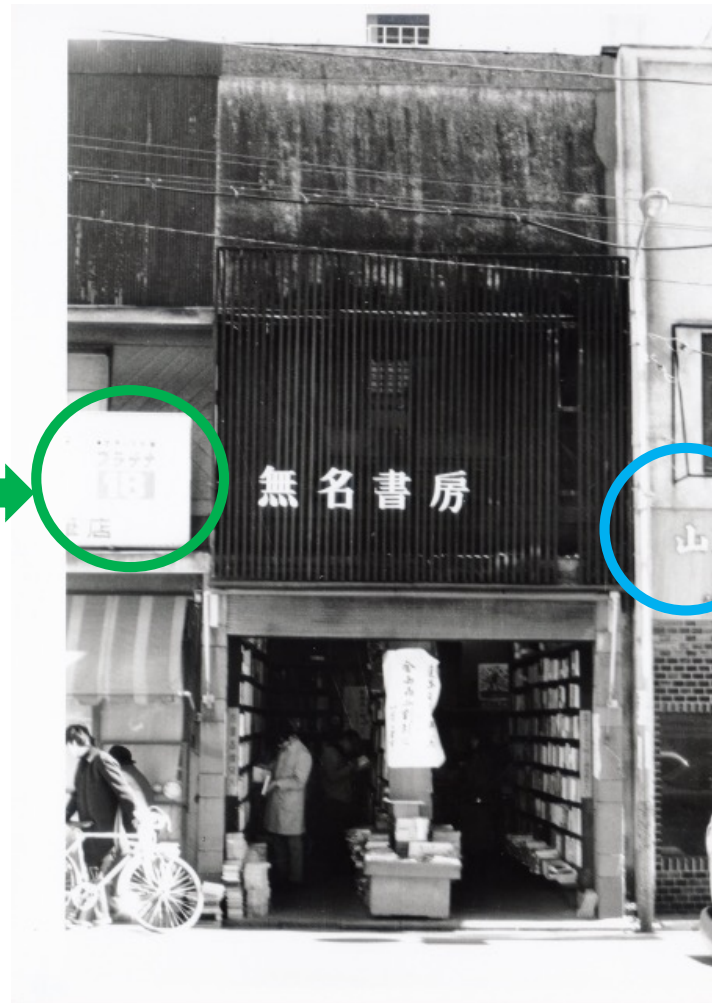
1964年の地図より、公園通り東側にあった店舗であることが分かった。1973年の地図でも確認できたが、撮影時期については特定が難しい。



(出典：「武蔵野市商工住宅名鑑 1964年」住宅協会)

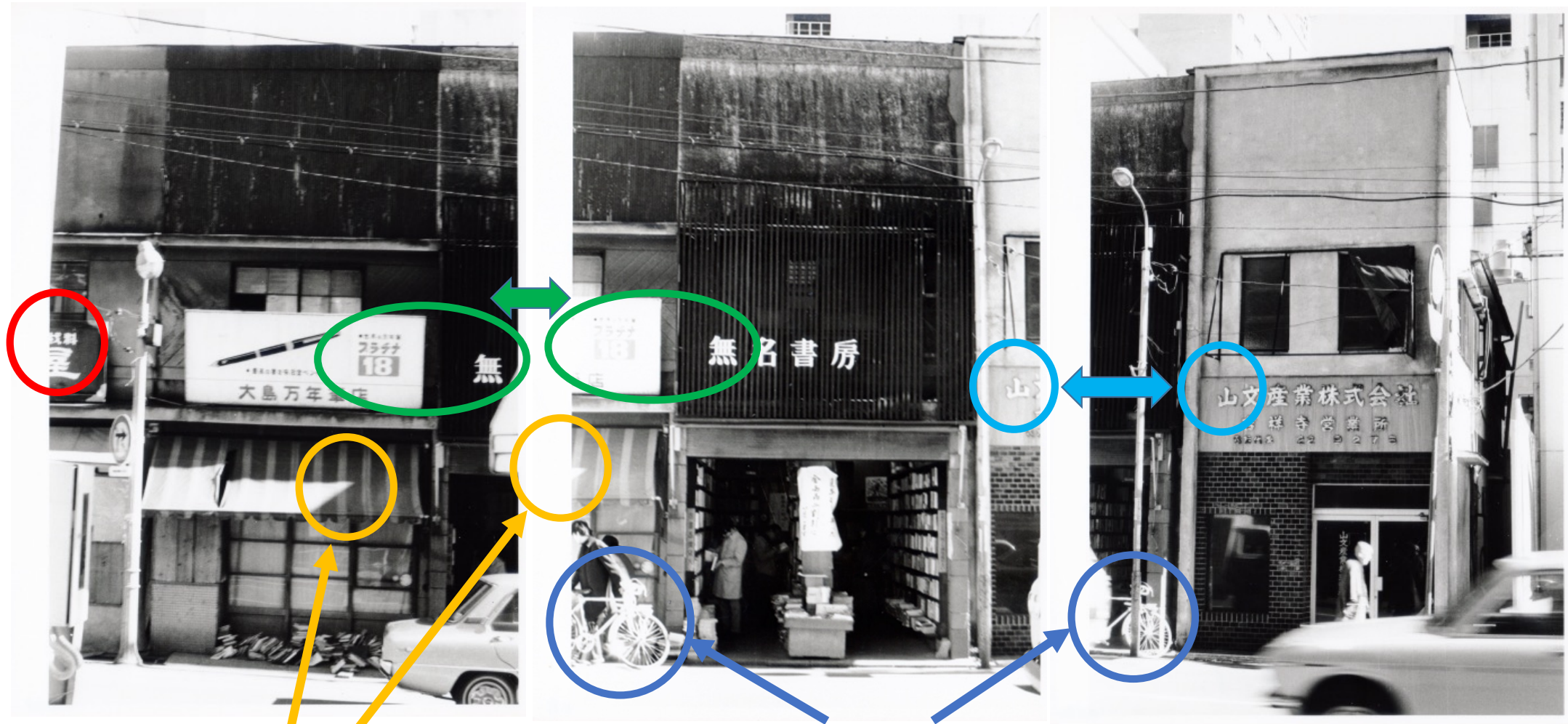
同じ時、同じ場所で撮影されたと推定される一連の写真の発見

「プラチナ18」という
文字が写り込んでいる



「山」という文字
が写り込んでいる

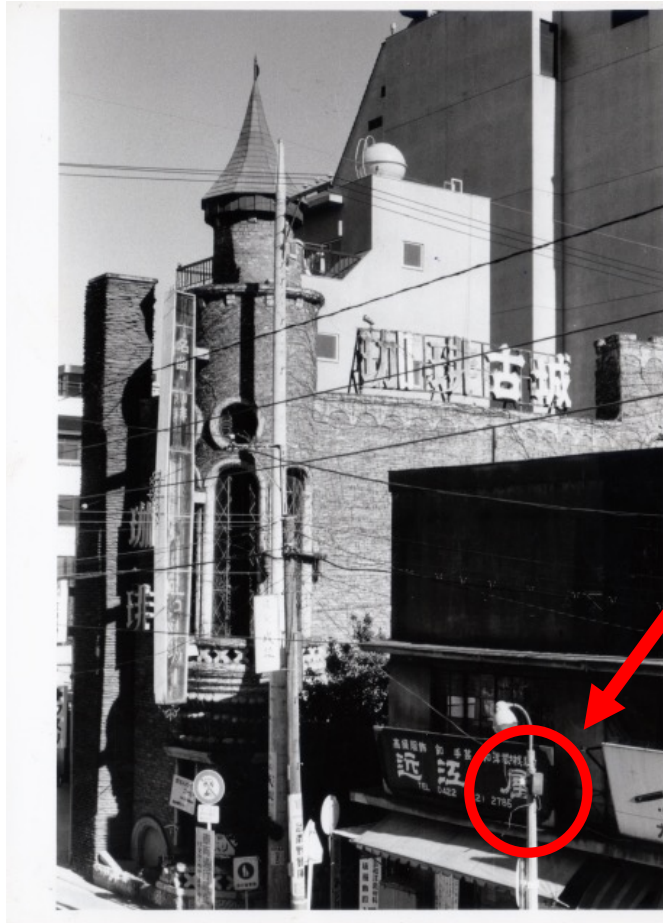
同じ時、同じ場所で撮影されたと推定される一連の写真の発見



日の当たり方が同じ

同じ自転車が写り込んでいる

同じ時、同じ場所で撮影されたと推定される一連の写真の発見



同じ「屋」の
文字が写り込
んでいる



公園通り（吉祥寺通り）沿いの同じ並びを写した一連の写真であることが分かった。



1973年の地図でも
店名を確認できた。

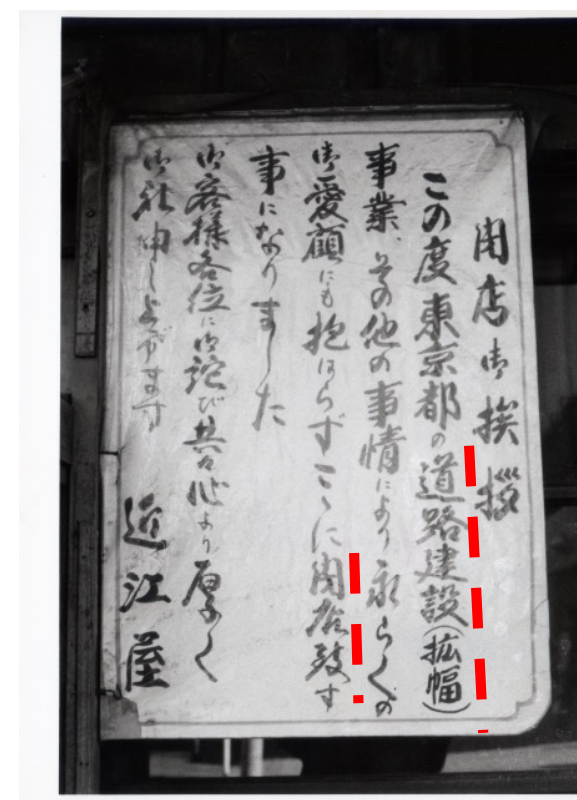
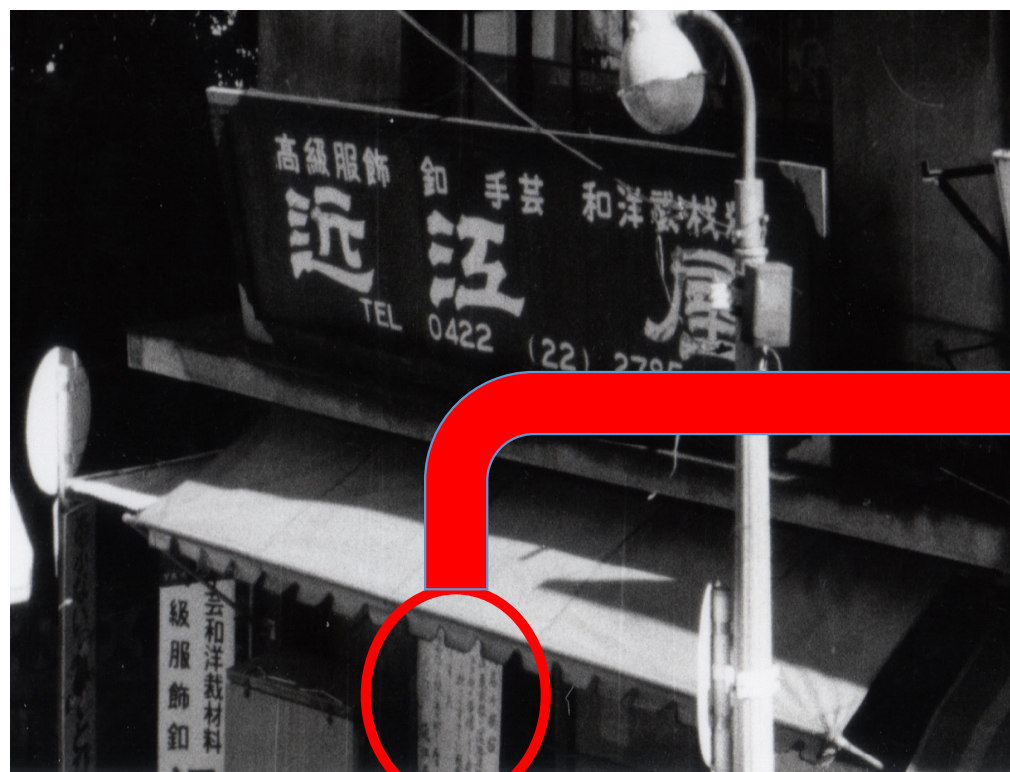


(出典：「商工住宅名鑑 武蔵野市 #73」東都地図社)

同じ場所の現在の写真



さらに、貼り紙の内容から、公園通りの拡幅工事による閉店であることが分かる。記録によれば、これらの写真に写っている店で一番遅く買収契約が結ばれたのは「珈琲古城」の1976（昭和51）年。契約から1年以内に取り壊しが始まることが多いことから、1976年～1977年頃撮影された写真であると推定される。



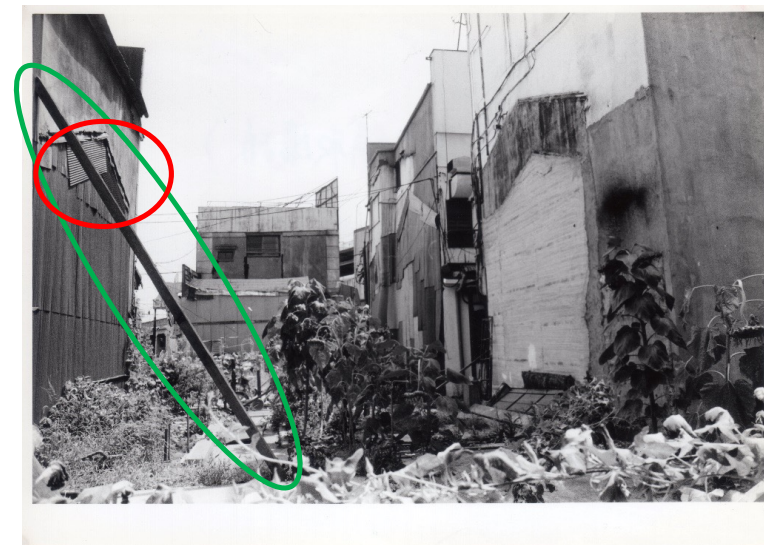
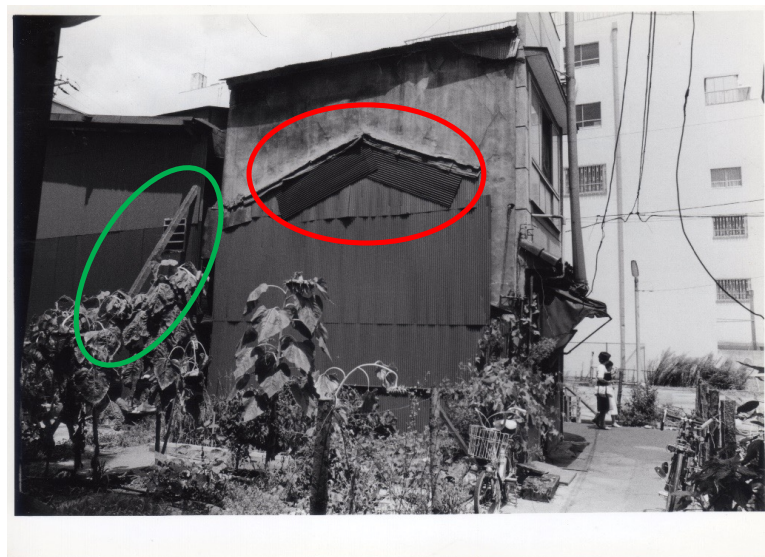
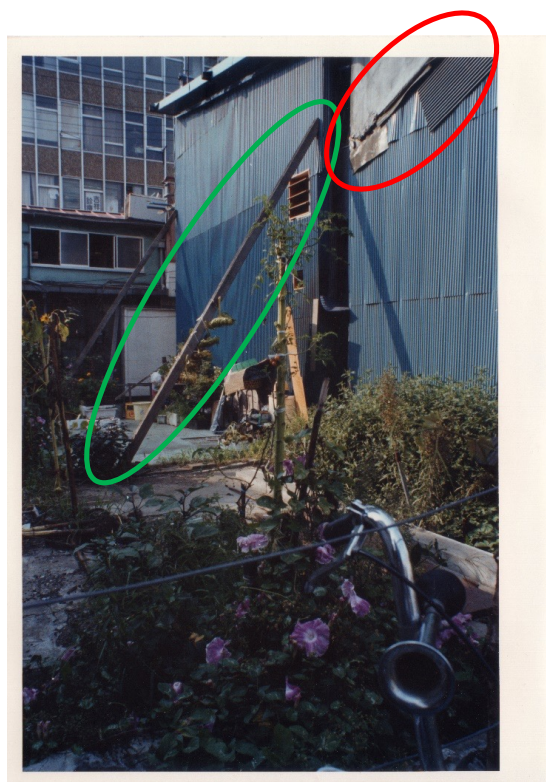
＜事例 3＞

写真に写り込んでいる情報と昔の地図や歴史資料に加え、聞き取り調査によって撮影時期や場所が特定できたケース

現在はバスロータリーになっている吉祥寺駅北口の旧「三角地帯」を写したと推定される3枚の写真



共通して写っているものから、同じ場所を角度を変えて撮影していることが分かるが、正確な場所を特定する手掛かりがない。



武蔵野市役所での聞き取り調査で分かったこと

（１）買収契約を結ぶ際は、「１年以内に収去（＝建物を取り壊して更地にする）を開始する」という条項を入れることが多い。

（２）写真ではかなり収去が進んでいることから、写っているのは三角地帯に最後まで残った建物である可能性が高い。

（３）右の写真の後ろに写っている建物は、小野山建設の入っていた駅前ビル（＝小野山ビル）だろう。

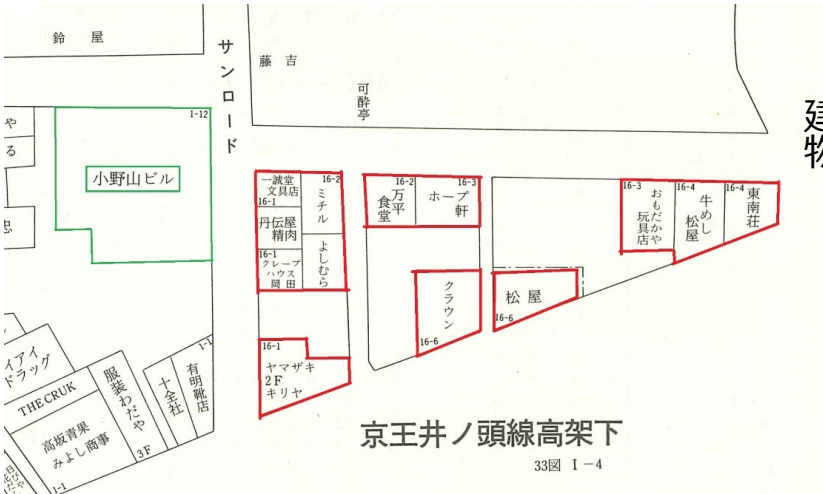


聞き取り調査で分かった情報と、買収記録や地図との照合作業



一九八五（昭和六十）
年に買収契約が結ばれた建物

（出典：『21世紀への基盤づくり』）



一九八五（昭和六十）
年の地図に記載がある建物

（出典：1985年のゼンリン地図）



写真と地図との照合作業

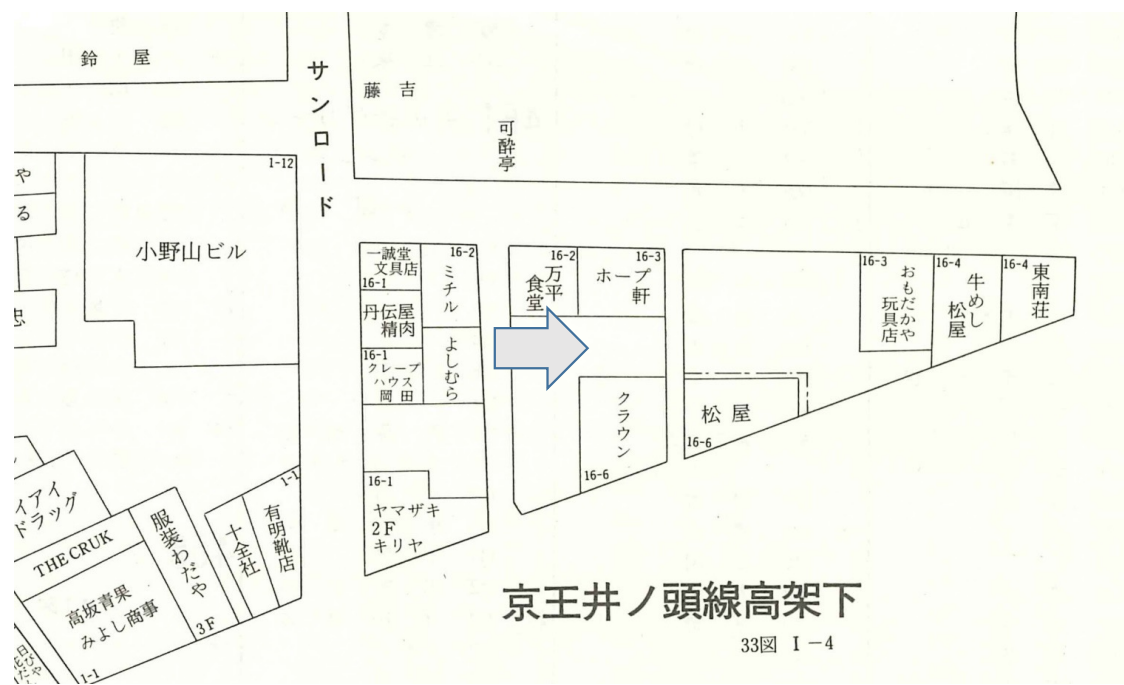


(出典：1985年のゼンリン地図)

小野山ビル



写真と地図との照合作業



(出典：1985年のゼンリン地図)



写真と地図との照合作業と、 聞き取りによる裏づけ調査



(出典：1985年のゼンリン地図)



買収契約が1985（昭和60）年に結ばれており、1986年3月に三角地帯の取り壊しが始まったとの記録があることから（『21世紀への基盤づくり』）、これらの写真が撮影されたのは1985年夏であると推定される。



<事例 4>

もっぱら聞き取り調査によって撮影場所が特定
できたケース

古い家と大きな木が写っているだけの写真。大きなうろのある特徴的な木ではあるが、場所をつきとめる手掛かりがほとんどない。



ところが、「今昔写真館委員会」のメンバーで石川さんをよく知る方にこの写真を見ていただき、話をうかがってみると……

「本橋さんの大きなけやきの木に、ふくろうがいた。それをつかまえようというので（木のうろに）花火を投げ込んでいた。それで火がついて、ぼうぼう燃えて大変だった。その木に似ていることは似ている。……石川さんの家はこの先だから、（この木は）ねずみ花火をつっこんだりした木であることはあり得る。行けば、まだその木は生きているから分かる。確か武蔵野市か何かの指定を受けているはず。」



うかがった場所を訪れてみると……

確かに同じ形の木があり、「吉祥寺旧本宿のケヤキ」という東京都指定天然記念物だった。



※ 木の裏手にマンションが建っているため、
左の写真とは反対の側から木を撮っている。

「石川コレクション」を通して見る
吉祥寺駅周辺再開発の歴史

写真の撮影時期と場所の特定作業を通じて 分かったこと

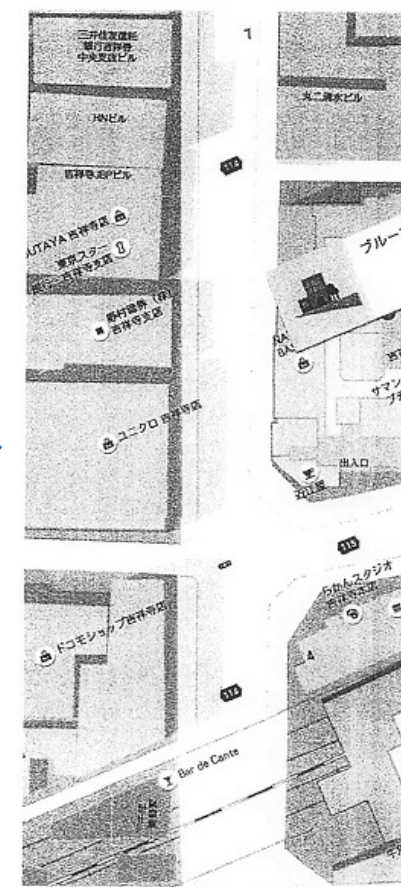
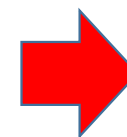
- 「石川コレクション」には、吉祥寺駅周辺再開発による街並みの変化を記録したものが数多く含まれている。
- 特に、（１）公園通り（吉祥寺通り）の拡幅工事
（２）現在パルコが建っているエリアの再開発
（３）吉祥寺駅北口駅前広場の整備事業
に関連する写真が多い。

(1) 公園通り（吉祥寺通り）の拡幅工事

- 1968（昭和43）年9月、東京都施行による公園通り拡幅工事事業決定。
- 1974（昭和49）年から1975（昭和50）年にかけて公園通りの買収が進む。
- 1981（昭和56）年12月、公園通り拡幅工事終了。

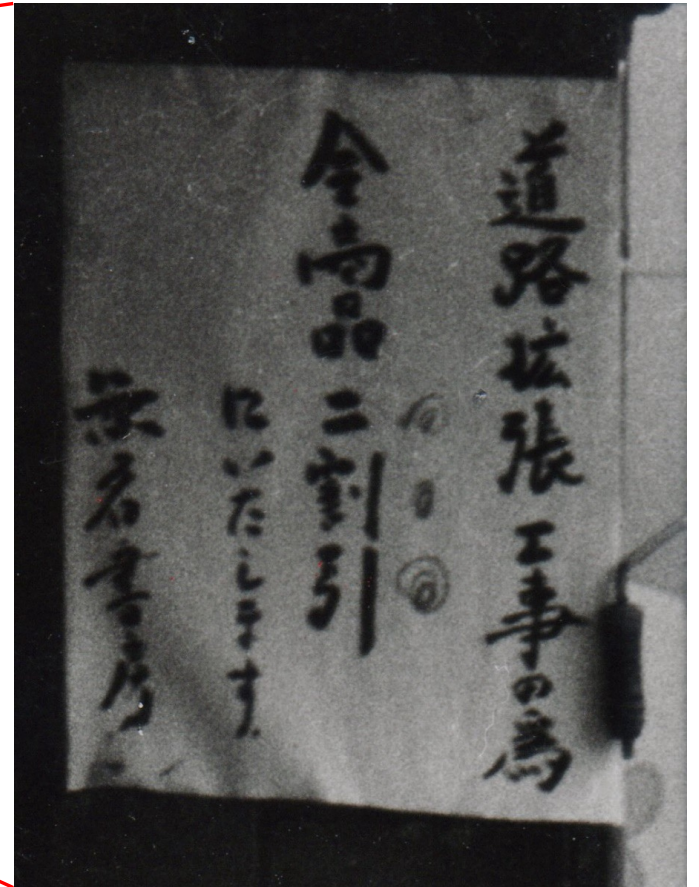
(1) 公園通り (吉祥寺通り) の拡幅工事

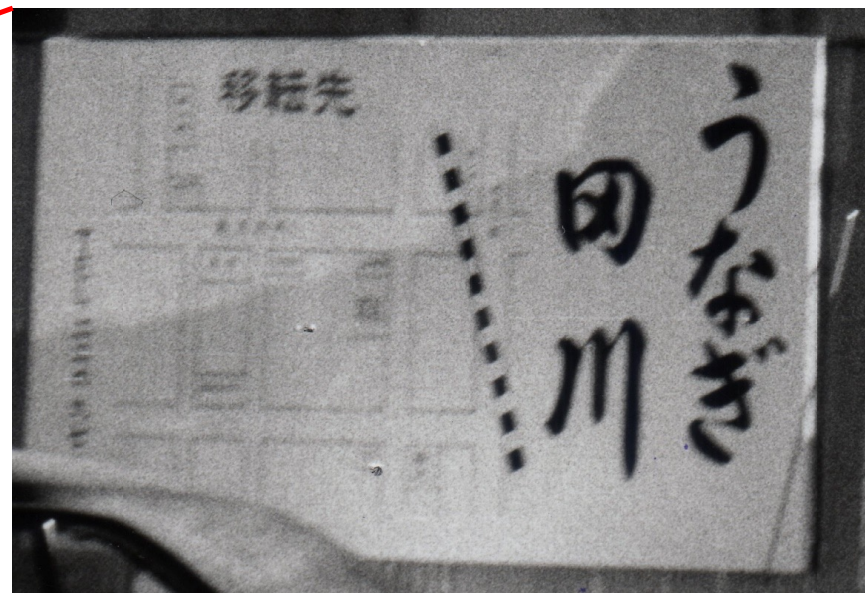
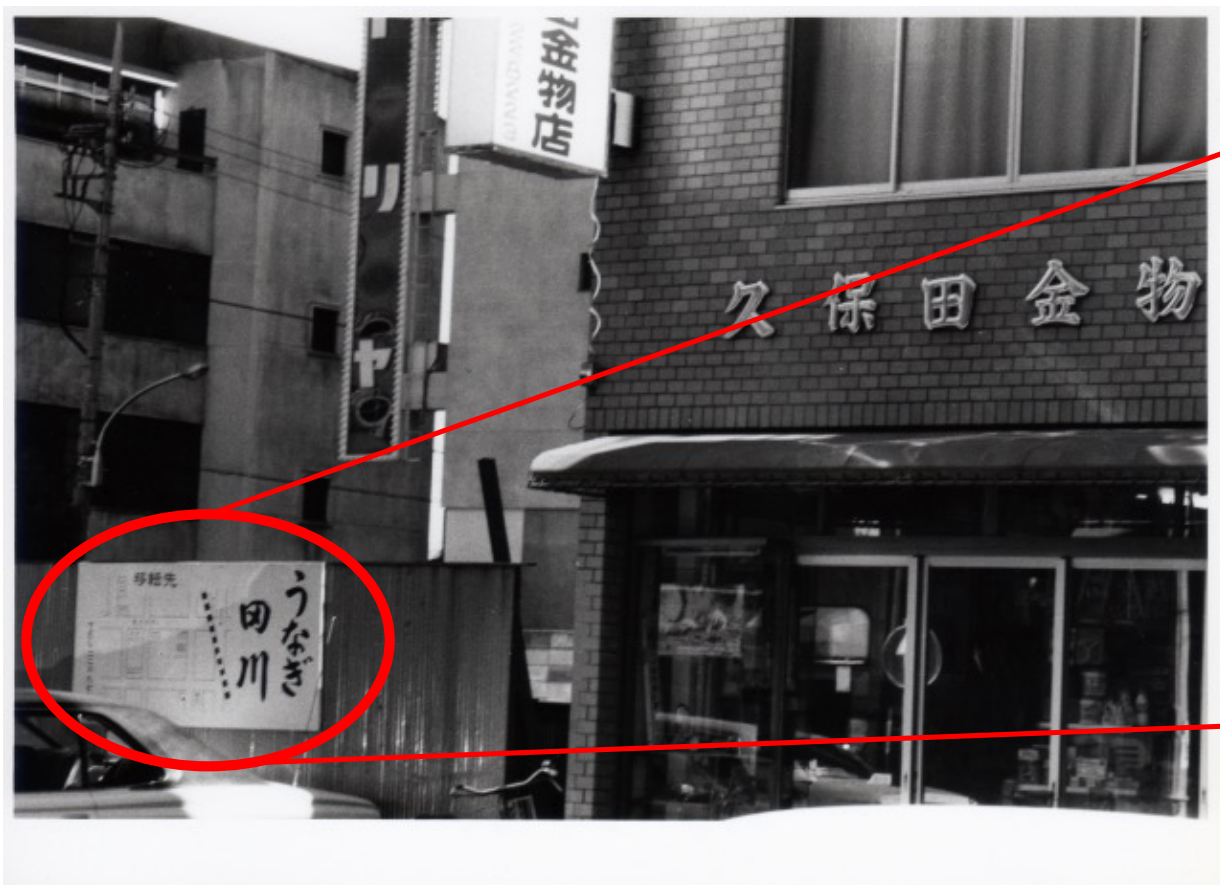
- 拡幅工事前、公園通りの幅員は5間
= 9 mだった。
→西側に2 m、東側に5 m、計7 m
拡幅され、幅員16mの道路に。
- 「(西側に) 名店会館があり、
引っ込められなかったので、東西
均等にセットバックできなかった」
(聞き取り調査より)
→通り沿いの多くの店舗が移転・廃業
することに



(出典：『21世紀への基盤づくり』)

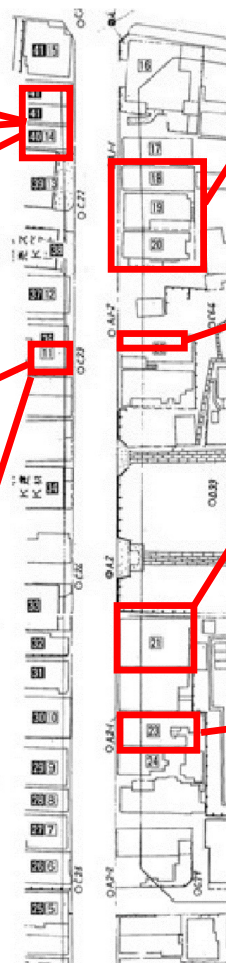
(出典：Googleマップ)



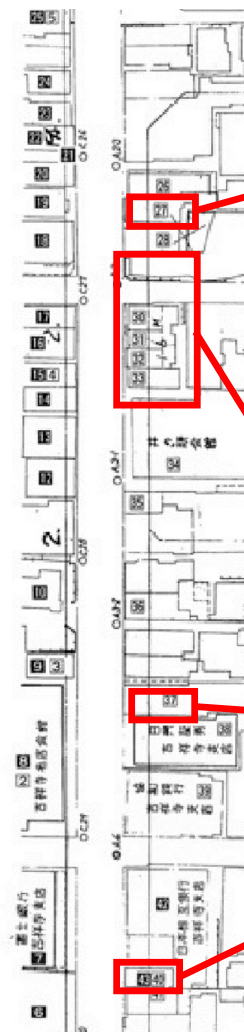


拡幅工事以前、公園通り沿いにあった店舗の写真

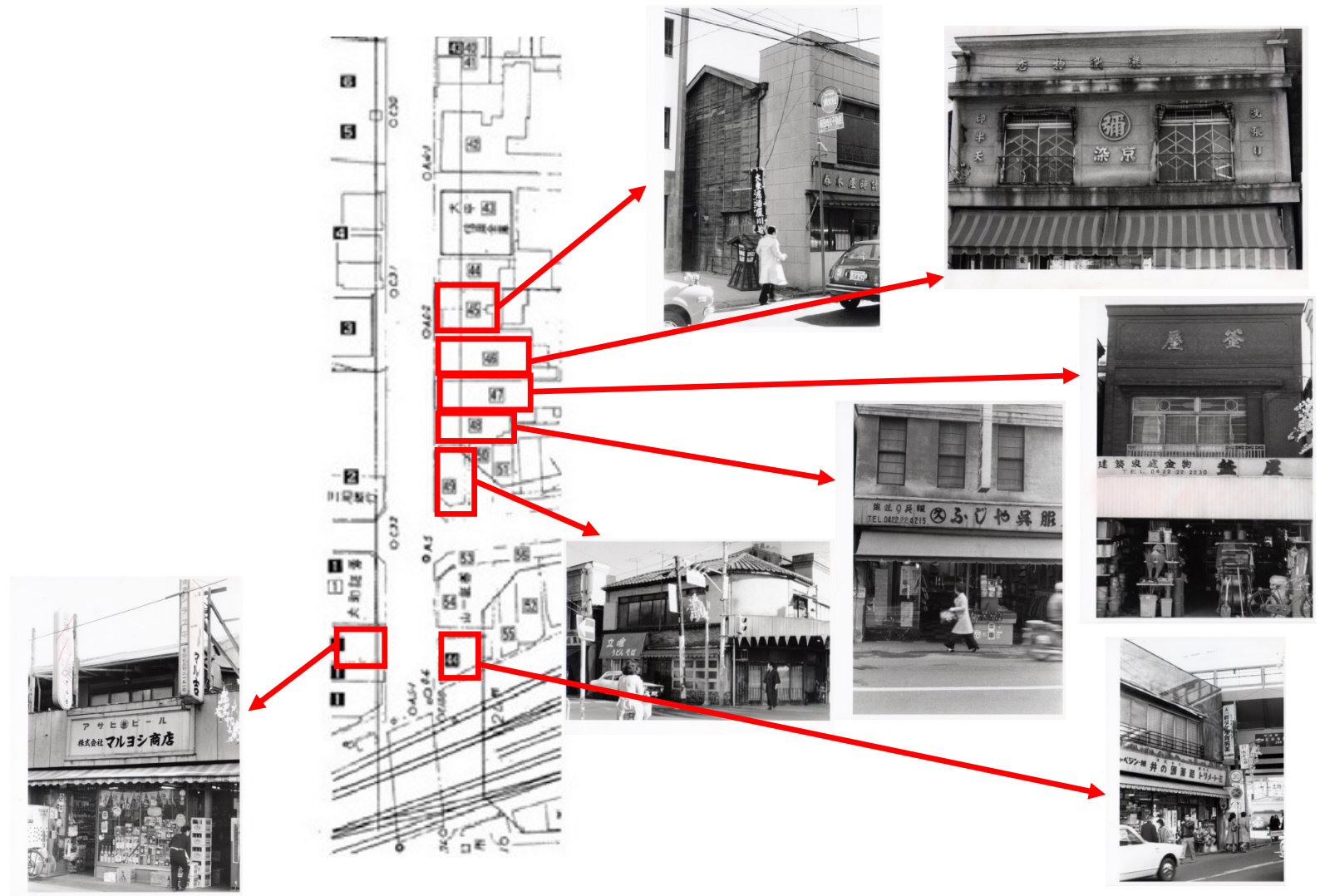
五日市街道



拡幅工事以前、公園通り沿いにあった店舗の写真

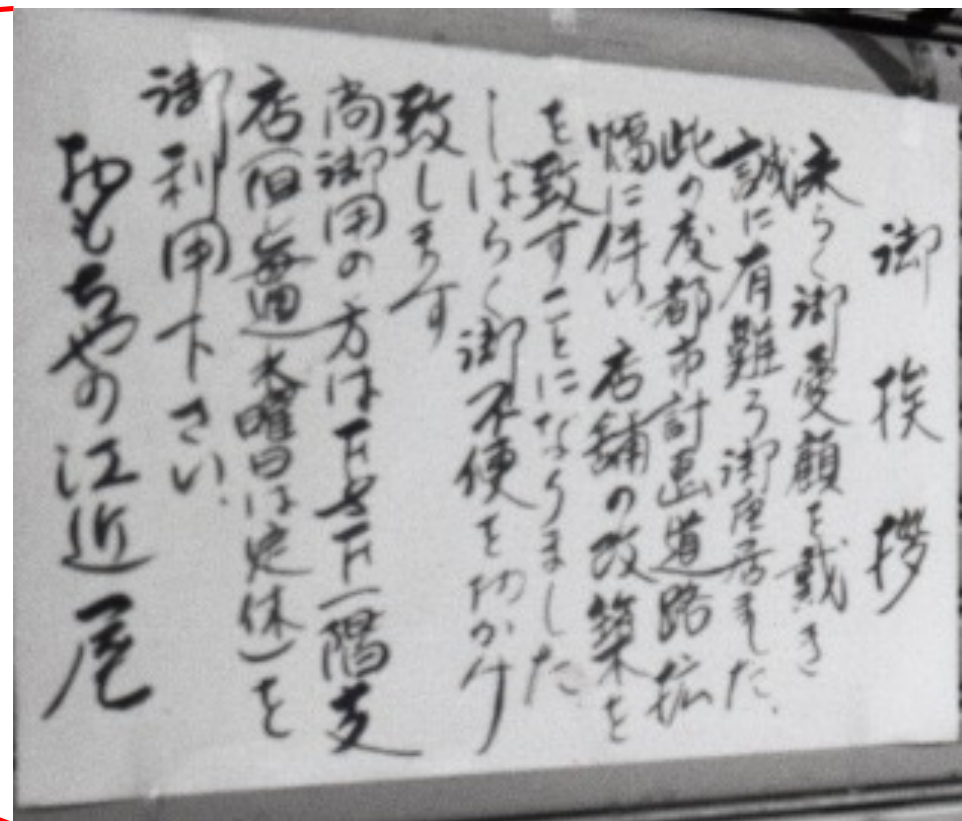
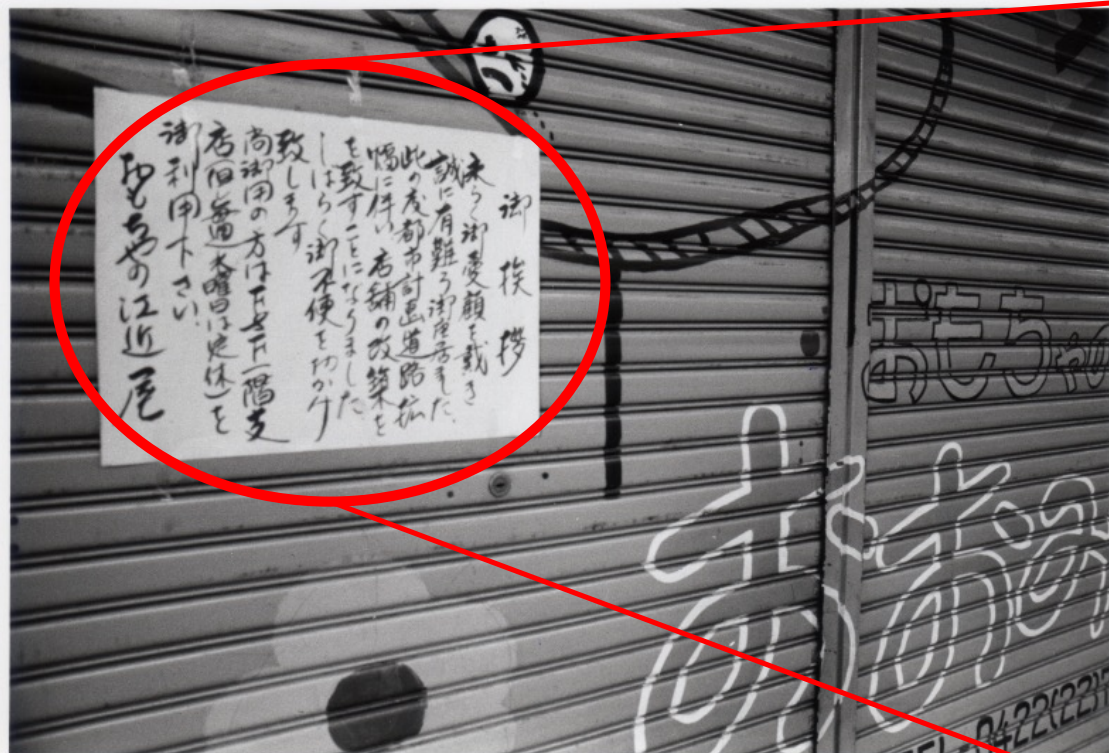


拡幅工事以前、公園通り沿いにあった店舗の写真



(2) 現在パルコが建っているエリアの再開発

- 1976（昭和51）年7月、パルコ建設予定地の建物の取り壊し開始。
- 1980（昭和55）年9月18日吉祥寺パルコオープン



1977年（昭和52年）10月ごろの写真

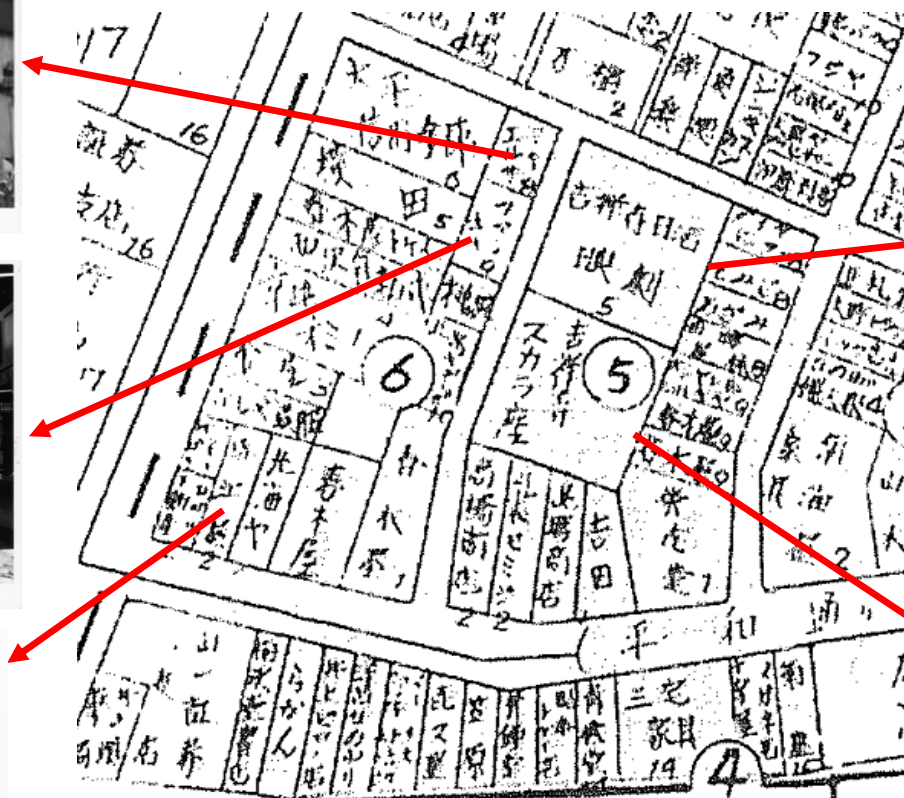


同じ場所の現在の写真



現在のパルコを縦断する形で昔は通りがあり、両側に映画館や喫茶店が並んでいた

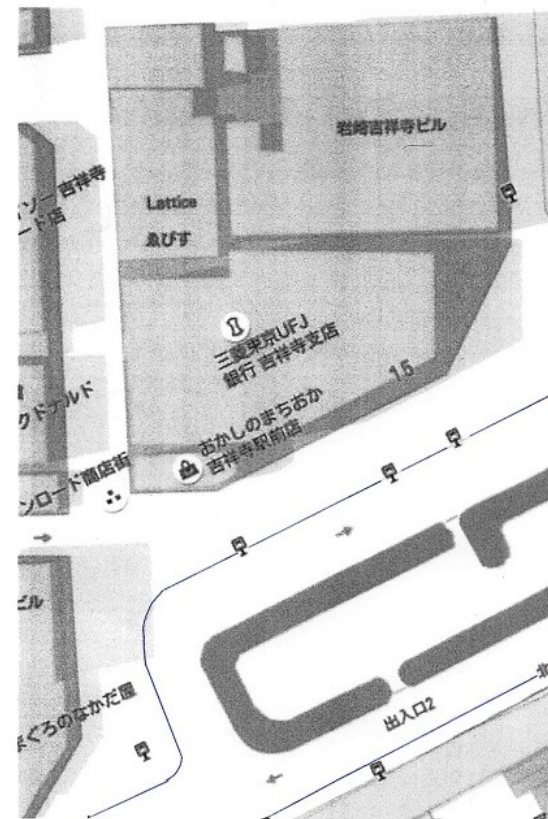
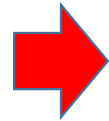
現在パルコが建っているエリアにあった店舗の写真



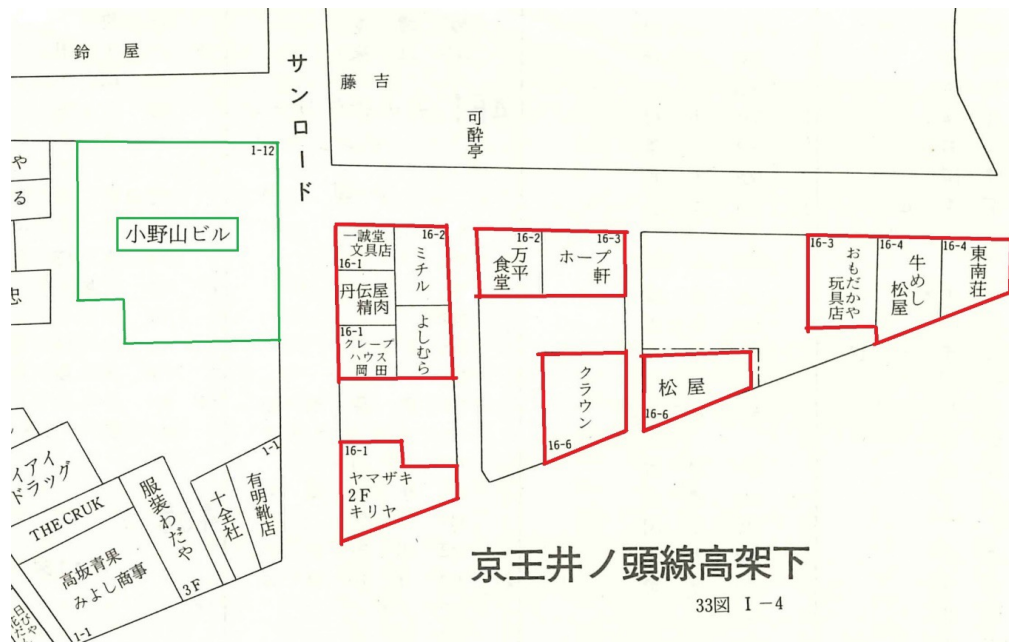
(3) 吉祥寺駅北口駅前広場の整備事業

- 1966（昭和41）年、「吉祥寺駅周辺都市計画事業決定案」事業決定
- 1985（昭和60）年2月、東京都知事に土地収用法に基づく手続き開始の申し立てを実施。
- 1985（昭和60）年11月、駅前広場用地の全物件について買収契約完了。
- 1987（昭和62）年3月、吉祥寺駅前広場完成記念式典挙行。

(3) 吉祥寺駅北口駅前広場の整備事業



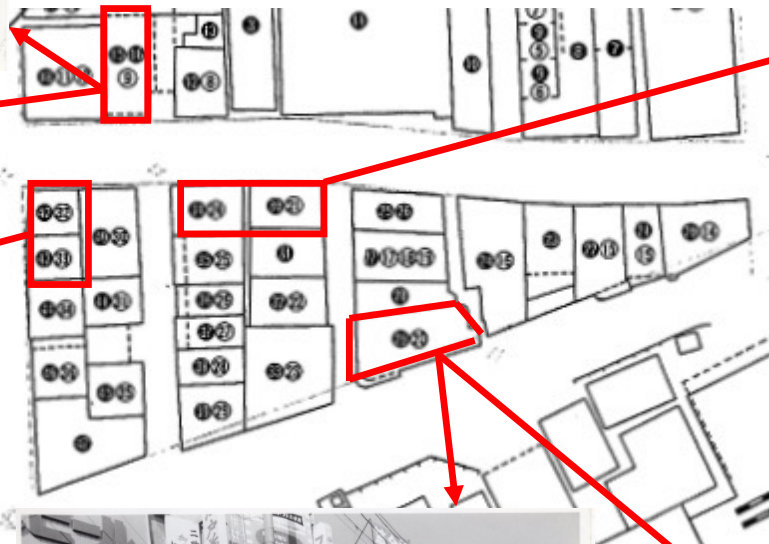
1986（昭和61）年に取り壊される直前の 三角地帯一帯の様子



（出典：1985年のゼンリン地図）



「三角地帯」の写真



写真のアーカイブ化作業を通じて
見えてきたことと、私たちの提案

写真のアーカイブ化作業を通じて見えてきたこと

- (1) アーカイブ化の作業は、街の魅力を再発見するプロセスである。
- (2) 街の写真、地図、年表はコミュニケーションを生み出すツールである。

アーカイブ化の作業は、 街の魅力を再発見するプロセスである

写真の撮影場所・時期をつきとめる作業を通じて、
(1) 吉祥寺のことをより深く知ることができた。



「プチロード」という通りの名前と、
シンボルとなるピエロのオブジェの
存在を知った。

アーカイブ化の作業は、 街の魅力を再発見するプロセスである

写真の撮影場所・時期をつきとめる作業を通じて、

(2) 街のあちらこちらに「街の変化の痕跡」が残っていることに気づくことができた。



普段よく横を通るビル（「古城ビル」
＝「Loft」の隣のビル）の前身は「喫茶
古城」という喫茶店であり、見上げたら、
その名残である「塔」を発見する
ことができた。

アーカイブ化の作業は、 街の魅力を再発見するプロセスである

写真の撮影場所・時期をつきとめる作業を通じて、
(3) 昔の街の姿が想像できるようになった。



街の写真、地図、年表は コミュニケーションを生み出すツールである

- みんなで地図と年表を頼りに写真の撮影場所と時期を「あーでもない、こーでもない」と推理する作業は、とにかく盛り上がる。
- 実際にみんなで現地を訪れてみると、意外な発見があって一層盛り上がる。

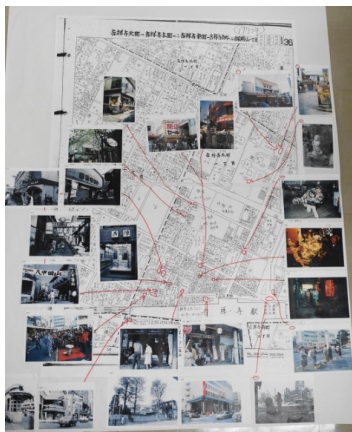


街の写真、地図、年表は コミュニケーションを生み出すツールである

- 写真、地図、年表が生み出すコミュニケーションは、世代を超える。

→聞き取り調査では、写真や地図、年表をきっかけに、昔の吉祥寺をよく知る方々に対し積極的に質問することができたし、自分たちが生まれるはるか前の話であっても、その面白さを感じることができた。

つまり、普段の学生生活では決して体験できないような世代を超えた交流をもつことができた。



私たちの提案

・ 私たちが体験した写真のアーカイブ化作業の楽しさ、アーカイブ化作業を通じて生まれるコミュニケーションの楽しさを追体験してもらうために、2つの企画を提案したい。

(1) 新旧の住民同士のコミュニケーションを生むための写真ワークショップ

(2) 来街者に吉祥寺を回遊してもらい、さらに歴史を知ってもらうための「フォトツーリズム」

(1) 新旧の住民同士のコミュニケーションを生むための写真ワークショップ

(1) 目的：自分たちが住む地域の昔の写真をきっかけとして、新旧の住民同士が交流し、地域に対する理解を深め、地域に関する記憶を共有すること。

(2) 具体的な手法：

- (a) コミュニティセンターなどが中心となり、各家庭に眠っている「地域の昔の写真」を募集する。
- (b) 比較的新しい住民で「写真探偵団」を作り、写真に写り込んでいる情報や昔の地域の地図、歴史資料などを手がかりに、各写真の撮影された場所や時期を推理する。
- (c) 比較的古い住民を集め、昔の地図や歴史資料を見てもらいながら聞き取り調査を実施し、推理を補完する。
- (d) 聞き取り調査の内容も含め、自分たちの調査結果を発表する写真展を開催し、成果を記録として留める。

(2) 来街者に吉祥寺を回遊してもらい、さらに 歴史を知ってもらうための「フォトツーリズム」

(1) 目的：来街者に、昔の吉祥寺の写真と地図を手に「吉祥寺の街に残る歴史の痕跡」を探してもらい、回遊をうながすと同時に、歴史を知ることによって吉祥寺の魅力を再発見してもらう。

(2) 具体的な手法：

- (a) 観光案内所などで昔の吉祥寺の写真と地図および「ヒント」を渡し、写真が撮影された場所の「現在の写真」を撮影してきてもらう。
- (b) 正解者には写真の難易度に応じた記念品と、写真が撮影された時期や時代背景などに関する解説の入った資料を渡す。

(2) 来街者に吉祥寺を回遊してもらい、さらに歴史を知ってもらうための「フォトツーリズム」

(3) 写真とヒント、解説文の例



<ヒント> 現在もある、とある交差点の写真です。右上に「家具の」と書かれた看板がのぞいています。左端に写っている「呉服店」は今も同じ場所で営業しています。ここはどこでしょう？



<解説文> ここは平和通りと公園通りがぶつかる交差点です。1970年代半ばの公園通りの拡幅工事と1980年のパルコの完成で街並みが大きく変わりました。「家具の」の看板は「家具の南海屋」のもので、現在は「L-Breath」になっています。「呉服店」はパルコ1階にある「ふじや呉服店」です。

**写真を通じて伝わってきた
石川さんの思い**



2016

1956 1989

参考文献・資料

<書籍>

- 吉祥寺駅周辺再開発事業誌編集委員会編 『21世紀への基盤づくりー吉祥寺駅周辺再開発事業誌』 武蔵野市（1989年）
- 鈴木育男『吉祥寺と周辺寸描ー鈴木育男写真作品集<第2集>（第2版）』 らかんスタジオ（2003年）
- 鈴木育男『鈴木育男写真集 うつりゆく吉祥寺』 ぶんしん出版（2014年）
- 土屋恂『吉祥寺 消えた街角（第2版）』 河出書房新社（2004年）
- 『保存版 ふるさと武蔵野』 郷土出版社（2013年）

<ウェブサイト>

- 「MUSASHI's Nostalgic Museum」 (<http://phosphatidylserine.cocolog-nifty.com/blog/>)

参考文献・資料

<ウェブサイト（続き）>

- 「昔の吉祥寺について語ろう！」
(<http://machi.to/bbs/read.cgi/tama/1020877341/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 2」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1025442856/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 3」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1028419030/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 4」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1042731126/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 5」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1057066845/>)

参考文献・資料

<ウェブサイト（続き）>

- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 6 （武蔵野）」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1083351990/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 7 （武蔵野）」
(<http://mimizun.com/log/machi/tama/1126253741/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 8」
(<http://machi.to/bbs/read.cgi/tama/1165334893/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 9」
(<http://machi.to/bbs/read.cgi/tama/1260429188/>)
- 「昔の吉祥寺について語ろう！ P a r t 10」
(<http://machi.to/bbs/read.cgi/tama/1341124644/>)

参考文献・資料

<ウェブサイト（続き）>

- 一般社団法人映画演劇文化協会「キネマ写真館 日本映画写真データベース」 (<http://kinema-shashinkan.jp/>)

<地図>

- 「武蔵野市 1959（東京都全住宅案内図帳）」 東京住宅協会
- 「武蔵野市商工住宅名鑑 1964年」 住宅協会
- 「商工住宅名鑑 武蔵野市 1967」 東都地図社
- 「商工住宅名鑑 武蔵野市 46 〔#71〕」 東都地図社
- 「商工住宅名鑑 武蔵野市 #73」 東都地図社